

1 学校教育目標

○かながえて ○めあてをもって ○たくましく 友だち思いの亀田の子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	・学力の向上に取り組む学校 ・心の教育に取り組む学校	・目標を掲げて取り組む学校 ・体力の向上に取り組む学校
○児童・生徒像	・粘り強く学習する児童 ・友達を大切にする児童	・めあてをもって取り組む児童 ・健康づくりにはげむ児童
○教師像	・考える授業を展開する教師 ・一人一人を大切にする教師	・認め励まし伸ばす教師 ・子どもと共に汗を流す教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

令和6年度は全校で20学級とコミュニケーション教室「かがやき教室」の編成、全校児童数641名でスタートした。素直で、子供らしく、優れた能力をもつ児童が多い。そのため、落ち着いて、楽しく学校生活を過ごせる環境である。155名が卒業し、87名が入学。今後は児童数が減少していくことが予想される。

【前年度の成果と課題】

○学力の確実な向上

この6年間、授業方法やパワーアップタイム、放課後補充教室、ステップ学習等の学力向上の取組を改善しながら組織的に取り組んできた。その成果が確実に出てきている。令和6年度足立区学力定着度調査 目標通過率 国語 97.1% 算数98.4% 2教科平均97.8%。区の平均を10ポイント以上上回った。全国学力調査(6年生対象)でも全国の平均正答率を国語 8.7ポイント 算数12.2ポイント 2教科平均10.4ポイント上回った。今後も個の習熟度やつまずきにに応じた指導や学力向上の取組を実施し、全児童に学力を確実に定着させるとともに、思考力、表現力、学びに向かう力を高めていく。

○豊かな心の育成

児童の自己肯定感・自尊感情を高めるために、自分のよさや友達のよさに気付き・認められる教育活動に取り組んできた。また、教員の人権感覚を磨き、児童に寄り添った生活指導にも取り組んできた。自分が好きなこと・得意なこと(クラブ活動、課外クラブ活動、地域と連携したイベント等)に挑戦できる機会を多く設定することができた。「学校は楽しい」90.1%「自分が好き」82%「よいところ・得意なことがある」95%。自己肯定感・自尊感情をより高めたい。

○体力の向上

体力向上委員会が中心となり教員の体育指導力の向上研修、体育の授業改善に取り組んだ。また、夏休みの水泳、持久走、なわ跳び旬間等の体力向上の取組も方法を工夫して実施した。児童は安全に楽しく運動に取り組むことができた。体力・運動能力調査では、91/96種目が区の平均を超えた。全国と比較すると、投力が課題となっている。今後も継続して体力向上に取り組んでいく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	豊かな心の育成	◎	○	◎	○	◎
3	健康な体づくり、体力の向上	◎	◎	○	◎	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－ 1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 （目標通過率）		実施結果 （通過率結果）		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎的・基本的な学力の定着 表現力の育成 学びに向かう力の育成		区学力調査目標値通過率 90%以上 学期末テスト 全学年目標値通過率 80%以上		自己評価の際に記入					
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 （誰が、何を、どのように）	達成確認 方法	達成目標 （＝数値） （いつ・何を・どの程度）	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	授業改善	全学年 全教科	年間	【ねらい・目的】 ・足立スタンダードに基づいた授業実践 ・I C T の効果的に活用した授業実践 ・小中連携の研究授業実践	児童意識調査 11 月実施	授業が分かる 90%以上	自己評価の際に記入		
					保護者教育活動 診断アンケート	学力の向上 90%以上			
新規	表現力の育成	全学年 全教科	毎日	【ねらい・目的】 各単元において話し合い活動を意図的に取り入れる。学習のまとめとして発表する機会を設定する。	児童意識調査 11 月実施	自分の思いや考えを発表できる児童 8 0 % 以上			

継続	家庭学習習慣の定着	全児童	毎日	【ねらい・目的】 家庭学習習慣の定着。 学年に応じた目標時間設定 目標時間に応じた課題の提示。 提出できない児童は、その日のうちに課題に取り組ませることを基本とする。 ※中、高学年には自学自習を奨励	家庭学習定着状況調査 11月実施	家庭学習定着度 90%以上	自己評価の際に記入
継続	ステップ学習	全児童 国語・算数	年30時間程度	【指導体制】 担任＋専科＋管理職 【ねらい・目的】 既習内容の復習や発展的内容に取り組む。 【使用教材】 A Iドリル プリント等	学期末テスト	学期末テスト 正答率 低学年 80%以上 中学年 80%以上 高学年 75%以上の児童 80%以上	
継続	I C Tの効果的な活用	全学年 全教科	毎日	【指導体制】 全教員 【ねらい・目的】 授業や学力向上の取組、家庭学習においてI C Tを効果的に活用。 児童がクロームブック等を効果的に活用し、主体的に活用できる力を身に付けさせる。	児童、教員の活用状況調査 毎月 児童意識調査 11月実施	・学年に応じたI C T操作に関わる技能を身に付ける 95%以上 ・I C Tを効果的に活用して学習できる児童 90%以上 ・A Iドリル活用 補充教室 毎回 家庭学習 毎日	
継続	サマースクール	全学年 国語・算数 各学年 10名程度	長期休業期間 10日間 1日45分	【指導体制】 担任＋専科＋管理職 【ねらい・目的】 当該学年の復習や過去の学年にさかのぼったつまずきの解消。 【使用教材】 補充プリント等	サマースクール終了後 確認テスト	確認テスト 正答率 80%以上 つまずきを解消した児童 80%以上	

重点的な取組事項－ 2		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自己肯定感・自尊感情、規範意識を高める		自己肯定感に関する調査 全項目肯定的回答 85%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自己肯定感の向上	「学校は楽しい」 自己評価 90%以上 「自分が好き」 自己評価 80%以上 「よいところがある」 自己評価 90%以上	・ふれあい月間の取組 年3回 ・道徳授業の充実 ・「自分の好きなこと」「自分が得意なこと」へ挑戦 クラブ、委員会活動の充実 ・課外スポーツクラブ 琴、尺八クラブ バスケットクラブ サッカークラブ等	自己評価の際に記入		
心を育てる生活指導、特別活動の充実	生活・規律に関する 自己評価 肯定的評価 85%以上 保護者アンケート 肯定的評価 80%以上	・児童による挨拶運動の実施 ・縦割り班活動の充実 ・生活習慣調査の実施 ・QU 調査の分析・活用			
読書活動の充実	目標冊数達成 90%以上 図書館資料を活用した探究学習 1 単元以上	・読書旬間 年3回 ・読み聞かせ ・推薦図書コーナーの設置 ・図書支援員と連携した図書館の整備 ・読書と学び方ノートの活用 ・探究学習の推進			

重点的な取組事項－ 3		健康な体づくり、体力の向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力の向上を図る 規則正しい生活習慣の定着		運動が好き ８５％以上 運動・体力調査 全種目区平均値以上 規則正しい生活習慣定着 ８０％以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
健体力向上 健康な生活習慣の確立	運動が好き 85％以上 運動・体力調査 全種目区平均以上 早寝・早起等規則正しい生活習慣定着 児童、保護者評価 80％以上	・外遊び、家庭での運動奨励 ・全校体制による体力向上の取組の推進 ・体力調査の結果をもとにした授業改善 ・長期休業明け生活振り返り ・養護教諭・栄養教諭による・健康・食育指導 ・家庭への働きかけ（保護者会、通信、HP）	自己評価の際に記入		

6 まとめ

（１）今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

（２）保護者や地域へのメッセージ

（３）その他（学校教育活動全般について）